

連載・イベント

以上の例証は、井上靖の「ふるさと」に対する言葉である。前回において、ICTが関係した「ふるさと就労」と「田舎に暮らす」という局面について概述した。地方で働くことは、「ふるさと」を発見することでもある。そして身近になると、現場の姿を、次のサ

イトで見ることができる
【註6】。その『くらし』には、北海道に移住して暮らしている美穂や、姿を見ることができる。「農スタイル」、「森スタイル」、「海スタイル」など、土地や水と密着した
本連載コラムのエンディングには、やはりつぎの詩を掲げ、「ふるさと」をアフロードしたい。

そして、経験を深め人材育成に活かして第10次化に仕上げて欲しい。
夢は今もめぐりて、忘れがたき故郷。
如何にいます父母、恙なしや友がき、雨に風にけても、思い出する故郷。
「このねむしをはたして、いつの日にか帰らん、山はあおき故郷。」
第1次産業を基軸とした若い人たちの取り組みを知ることは、喜ばしい。

『故郷』高野辰之
兎追いしかの山、小鰯釣りしかの川、

http://www.kofuza.jp/
images/hen_2020_30.
pdf
【謹4】本コラム第⁽³¹⁾回
「口口ナウイルス危機く
の検証」第1~5回 (2
020年4月20日刊)

[http://www.kofuza.jp/
images/hen_2020_31.
pdf](http://www.kofuza.jp/images/hen_2020_31.pdf)
【謹5】本コラム第⁽³²⁾回
http://www.kofuza.jp/
images/hen_2020_32.
pdf
【謹6】「元海道の人、暮
るよ」仕事。『ハローワー
ルド』